

## 4. いじめ防止のためのアクティビティ(学習指導案)

いじめの防止をねらいとした計画的な学習活動は、子どもたちがいじめについて正しく理解するために欠かせません。人間関係づくりと人権尊重教育を中心にして、子どもたちが自ら考えて学び、お互いを大切に  
する気持ちを育てていくようにしましょう。

◇「よいところさがし」(P.32)

◇「わたしはよい友だち？」(P.33)・ワークシート(P.34)

◇「みんなが過ごしやすいクラスづくり」(P.35)・ワークシート(P.36)

◇「自分の思いの伝えかた」(P.37)・ワークシート1、2(P.38)3(P.39)

**★目的：**いじめ防止の考えを押しつけるのではなく、子ども自身が自発的に気づき、理解することで、いじめの根幹となる考え方を是正することを目的としています。

**★内容：**子どもたちの社会性育成と望ましい人間関係づくりにおいて、いじめ防止につながる効果的な学習活動です。より良い人間関係をはぐくむ「よいところさがし」、「わたしは良い友だち？」、自浄作用によるいじめ防止をねらいとした「みんなが過ごしやすいクラスづくり」、コミュニケーション力を身につける「自分の思いの伝えかた」の4つの学習指導案を掲載しています。

**★方法：**いじめ防止学習では、子どもの思考やペースに合わせて授業を行ってください。相手のペースに合わせることで、教職員と子ども、子ども同士の距離感を縮め、信頼関係を築き、授業等のねらいを達成しやすくします。

**★活用：**いじめ防止の芽を育てるには、普段の生活や授業の中で人間関係づくりを促進していくことが大切です。「大切なこと」、「伝えたいこと」をねらいに沿って子どもたちに伝え、その後の学級や子ども同士の関係づくりに生かしてください。

★このほか、『かわさき共生\*共育プログラム』(平成22年度3月配付)には、いじめ防止に役立ついくつかのエクササイズが載っています。学齢や集団の特性に合わせて最適なエクササイズを活用してください。

### 〈エクササイズ例〉

「いーれて」	(P.26)	小学1年～
「相手が元気になる聴き方」	(P.46)	小学2年～
「ふわふわ言葉とチクチク言葉」	(P.60)	小学2年～
「ちがいのちがい」	(P.104)	小学4年～
「Xさんからの手紙」	(P.134)	小学5年～
「ストレスってなに？」	(P.148)	小学6年～
「私のお願いを聞いて」	(P.244)	中学・高校生

## よいところさがし

★ねらい：互いのよさを認め合いながら、自分のよさを実感し、自分も友だちも大切にしていける気持ちを育てる。

★対象：小学校低学年～

★時間：40分(最初の5分間、アイスブレイキングを行ってから本時の活動に入る。)

★アレンジ：カードの工夫によって中学年以上でも実施できる。

時間	活動内容	・準備 ◇留意点
導入 10分	<p>①活動のめあてを確認する。 友だちにしてもらってうれしかったことや友だちのことで感心したことなどについて発表する。</p> <p>友だちのよいところを見つけてつたえよう</p>	<p>◇普段の関わりの中で、あまり意識していなかった友だちのよいところに目を向け、伝えていく授業であることを確認させる。</p> <p>・机を向かい合わせ、4人グループを作る。</p>
展開 20分	<p>②『よいところカード』を使って友だちのよいところを伝えていく。 よいところカードの紹介をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>カードの例</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまっている友だちに声をかける。</li> <li>・先生や友だちの話をよく聞いている。</li> <li>・いつも「いっしょにあそぼう」とさそっている。</li> <li>・当番のしごとをすすんでしている。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの机の上にカードを並べる。</li> <li>・隣に座っている友だちに渡したい『よいところカード』を選び、その友だちに手渡す。</li> <li>・カードを手渡す時には、カードを読みあげるだけでなく相手の名前や「うれしかったです」等自分の気持ちも付け加える。</li> <li>・カードをもらったら、次の友だちにも同じように手渡していく。</li> </ul> <p>・「いつも『いっしょにあそぼう』とさそっている ○○さん、やさしいですね。」</p> <p>・「○○さん、転んだとき『だいじょうぶ?』と声をかけてくれてうれしかったです。」</p> <p>・「○○さん、よいところを伝えてくれてありがとう。」</p> </div>	<p>・『よいところカード』(1グループに10枚以上配付) 低学年のカードは、普段の学校生活の中で目標にしていること、褒められていることなど具体的な内容が書かれてあるものにする。</p> <p><b>ひと工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年末に、行事やできごとなどが書かれたカードで、その時がんばったことを認め合うような活動もできる。(中学年以上)</li> </ul> <p>◇全員がカードをもらえるように配慮する。</p> <p><b>ひと工夫</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひと回りしたら、反対方向にし、もらった子が渡す。</li> <li>・ひと回りしたら座り順を変える。</li> </ul> <p>◇最後の児童がもらったカードが残り物とならないようにカードは多めに用意する。</p> <p>◇カードを渡す時の伝え方は教師が手本を示す。相手の名前や自分の気持ちを付け加えながら、相手の方をしっかりと見ながら伝えていくことが大切である。</p> <p>◇相互の認め合いを感じることができるようカードを受取る時の相手の話の聞き方も大切である。最後によいところをつたえてくれた友だちに「ありがとう」と言えるような雰囲気にしていく。</p>
ふりかえり 10分	<p>③感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちから自分のよいところを言われてうれしかった。</li> <li>・友だちのよいところをたくさん見つけて伝えることができてよかった。</li> <li>・これからも自分のよいところを増やそうと思う。</li> <li>・友だちのよいところを見つけたら、もっと友だちを大切にしようと思った。</li> </ul>	<p>◇互いのよさを伝えあうことができた喜びを共有する。</p> <p>◇お互いを認め合うことが、自分だけでなく友だちをも大切にすることにつながるということに気づかせる。</p>

## わたしはよい友だち？

★ねらい：自分が友だちからしてほしいことや友だちにしていることをふりかえり、見直すことによって、友だちとのよりよい関わり方について考える。

★対象：小学校中学年～

★時間：45分

★アレンジ：ロールプレイの内容やワークシートの項目内容によっては高学年以上でも実施できる。

時間	活動内容	・準備 ◇留意点
導入 15分	<p>①友だちってなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「いっしょに遊ぶ人」</li> <li>・「困ったとき励ましてくれる」</li> <li>・「たくさんいると楽しい」</li> </ul> <p>②ロールプレイを行う。</p> <p>〈ルール1〉 (A)が消しゴムを探していたら、隣の(B)が使っていたとき</p> <p>〈ルール2〉 休み時間、(A)は誰(B・C・D)からも遊びにさそってもらえなかったとき。</p>	<p>◇学校生活の中で、友だちは身近な大切な存在であることに目を向ける。</p> <p>◇普段の生活にありそうな場面のロールプレイを行う。役割を決め、皆で見合っていく。</p> <p>◇ロールプレイから友だちへの望ましい対応・好ましくない対応があることに気づかせ、自分の友だちとの関わりを考えるきっかけとする。</p>
展開 20分	<p>③自分と友だちとの関わり方について考えよう。</p> <p style="text-align: center;"><b>よい友だちとはどんな友だち？</b></p> <p>ワークシート「わたしはよい友だち？」に記入する。 「友だちからしてもらったらうれしいこと」・「友だちにしたことがあること」について○をつける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちからしてもらったらうれしいことには○が多いのに自分がしたことは少ないな。」</li> <li>・「友だちからしてもらいたいことを自分はしていないな。」</li> </ul> <p>④よい友だちについて気づいたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「友だちからしてもらいたいことを先に友だちにしようという気持ちをもつのが大切なかもしれない。」</li> <li>・「人によってしてもらいたいことは違うのかもしれない。相手の気持ちを考えてすることも必要だと思う。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを各自に1枚ずつ配付する。</li> <li>◇自分がしてもらいたいことをしてくれるのがよい友だちということだけでなく、自分からしているか、自分の行動を振り返りながら記入させていく。</li> </ul> <p><b>アレンジ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シート項目の内容を発達段階に合わせてアレンジしていくと高学年以上でもできる。</li> <li>◇友だちから何かしてもらおうことを中心に考えるのではなく、相手の気持ちに寄り添いながら自分から行動を起こすことがより良い関係になっていくことに気づかせる。</li> </ul>
ふりかえり 10分	<p>⑤感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「これからは、自分から先に友だちの気持ちを考えて話しかけたり、助けたりしていきたい。」</li> <li>・「みんなでよい友だちの意味を一緒に考えることができた。これからもクラスみんなで考えていきたい。」</li> </ul>	<p>◇一人ひとりの友だちとの関わりを考えていくことが、学級内の人間関係を豊かにしていくことにつながることに気づかせる。</p>

ねん 年      くみ 組      なまえ 名前

してもらった  
うれしいな

## わたしはよい友だち？

したことがある

	やす つぎ ひ がっこう こえ 休んだ次の日に学校で声をかけてくれる	
	はなし き なやみがあると話を聞いてくれる	
	わたしがふきげんだったり、いやなたいどをとったりしてもゆるしてくれる	
	わたしにとって大事なひみつをだれにも言わずにいてくれる	
	わたしによかったことやうれしかったことがあるとき、いっしょによるこんでくれる	
	なになくしたときには、さがすのをいっしょうけんめい手つだってくれる	
	ひとり 一人でいたいときには、そうさせてくれる	
	わたしのにが手なことをわかってくれる	
	げんき 元気がないとき、「だいじょうぶ？」と声をかけ、わけを聞いてくれる	
	けんかをしてもあとでそのことについて話し合える	

### 気づいたことを書きましょう

## 〈アレンジ〉

上記の項目は、小学校中学年用としてわかりやすい表現にしております。

「ありのままの自分」を認めてもらえる内容の項目は、自己肯定感につながる大切なものです。

他に次のようなものがあります。

- わたしを支持してくれる
- わたしが無我夢中していると、落ち着くように言ってくれる
- わたしが恐れ、不安に感じることを理解してくれる

〈参考文献〉『わたし、あなた、そしてみんな』ERIC 72ページ

学校教育相談2007年6月号「つながりのワーク」福原之織

# みんなが過ごしやすいクラスづくり

★ねらい：子どもたちのいじめに対する考えを把握し、『いじめは絶対に許されない行為である』ことに気づかせるとともに、話し合いを通して『みんなが過ごしやすいクラスづくり』に向けて前向きに考え、行動していけるようにする。

★対象：小学校高学年～

★時間：45～50分

★アレンジ：提示する話題を工夫して、中学・高校生でも実施できる。

時間	活動内容	・準備 ◇留意点
導入 5分	<p>①先生の話聞く。 〈話題の例〉</p> <p>掃除の時間、ごみ捨ての仕事は「ほうき当番」のグループがやることになっていますが、あるグループでは、いつもAさんばかりがごみ捨てをやっています。</p> <p>同じグループのBさんは、リーダーとしてグループのまとめ役ですが、「自分は、全体をみる仕事があるから」、「Aさんはいやがらずにごみ捨てに行ってくれる」などと言い、何かとごみ捨てをAさんにしむけます。</p> <p>Cさんは、「Aさんはえらいね。」と笑顔で肩をたたきながらAさんを見送り、Dさんや他のグループの人は知っていても何もいわずに見ているだけです。</p> <p>Aさんは、今日も仕方なく一人でごみ袋を抱えて教室を出ていきました。</p>	<p>・いじめにつながる身近な場面について話をする。(各学級や学年の実態に即して、日常の友だち関係や部活動・委員会活動等で起こりがちなことを取り上げる。)</p> <p>◇本時は、話に出てくるAさん、Bさん、Cさん、Dさん、周りの人についての気持ちを考えていくことを確認する。</p> <p>◇子どもたちから、「○○さんもこういうことしていた。」等と個人名が出てくるようなことがあれば、配慮をする。</p>
展開 35 — 40分	<p>②それぞれの立場やクラスの状況について考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれの立場になって気持ちを考え、ワークシートに記入する。</li> <li>書いたことを発表する。</li> <li>こういう状態が続くとどのような影響が出てくるか考える。</li> </ul> <p>・Aさんは何も言えず、いつも不安なんじゃないかな。</p> <p>・Aさんはなかなか断れない状況になっていたんだね。</p> <p>・いつ自分がAさんみたいになるかわからない。</p> <p>・なぜ、周りの人たちは何も言わなかったのかな。</p> <p>・クラスの雰囲気が悪くなると思う。</p>	<p>・ワークシートを配付する。</p> <p>◇それぞれどんな気持ちか、書けるところから書いていくようにする。</p> <p>◇Aさんの気持ちを中心に考えていくようにする。</p> <p>◇なぜ、いつもAさんがごみをもっていくことになってしまったのかその場の状況から考えさせる。</p> <p>◇同じような状況が続いた時に、人間関係やクラス全体に影響が出てくることに気づかせる。</p>
	<p>③みんなが過ごしやすいクラスをつくるにはどうしたらよいかを考え、話し合う。</p> <p>・標語やスローガンを作ったらどうかな。</p> <p>・からかわれている人がいたら、注意するようにしよう。</p>	<p>◇自分たちで考え、クラスに生かしていけるようにする。</p>
ふりかえり 5分	<p>④まとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嫌な思いをしている人がいないようなクラスにしていきたい。</li> <li>みんなで決めたスローガンを守っていきたい。</li> </ul>	<p>◇自分も相手も大切に、皆が楽しく過ごせるクラスを作っていくことを確認する。</p>



## 自分の思いの伝えかた

★ねらい：友だちの要求を断りたいときに、適切な表現で自分も相手も大切にしたい断り方を知る。自分の意志をきちんと伝えることの大切さに気づき、自分への自信がもてるようにする。

★対象：小学校高学年～(指導案を工夫して、中学・高校生にも応用できます)

★時間：45～50分

時間	活動内容	・準備 ◇留意点
導入 15分	①友だちに誘われて、断る事が難しい体験をしたことがないか思い出す。 【例】 ・「用事があるのに遊ぼうとしつこく誘われたことがある。」 ・「一緒に遊んでいて、自分は帰らなくてはならない時間だから、帰ろうとしたら『まだ遊んでいよう』と言われて困った。」	◇断ることの難しさや断ったことでトラブルになったことなどについて思い出させる。  ◇経験がない子どももいるので、周りとは話し合わせたり、例を挙げたりする。
展開 20 ― 25分	②ケース1、ケース2を考える ケース1：「相談ごとがあるから公園に来て」 ケース2：「友達を無視しよう」  ③自分はどのパターンに似ているか考える。 ④パターンA・B・Cのロールプレイをして断り方を実際に体験する。 A 攻撃的な断り方 B 受け身の断り方 C どちらも大切にしたい(アサーティブな)断り方  ⑤攻撃的な言い方・受け身の言い方・どちらも大切にしたい(アサーティブな)言い方をしたときに、どんな感じがするか考えてみよう ・「攻撃的な言い方だと相手が大切にされていない感じがする。」 ・受け身の言い方は、どちらの気持ちなのかよくわからない。 ・アサーティブな言い方は、いやな感じがしない。  ⑥ルール(役割)を解除する。	・ワークシート①を配付する。 ◇ワークシート①「あなたならどうしますか?」を読み、ケース1、ケース2の場面で自分だったらどう答えるか考えさせる。 ・ワークシート②を配付する。 ◇ワークシート①に記入した文章が、ワークシート②「あなたはどのパターンかな?」のどのパターン(A、B、C)にあてはまるか確認させる。 ◇2人組(3人組は一人が観察者)で交代する。  ・ワークシート③を配付する。 ◇もう一度ロールプレイをしながら、気づいたことをワークシート③に書き込ませる。 ◇アサーティブな言い方が、自分も相手も大切にしたい言い方であることに気づかせる。
ふりかえり 10分	⑦ふりかえりを行う。 ・「上手な断り方をすれば、友だちも自分もいやな思いが残らない。」 ・「自分の考えをきちんと、しっかりと伝えることも大切なことが分かった。実行していきたい。」	◇適切な言い方によって、自分の意志をきちんと伝えることができることに気づかせ自分の意思を伝えることに自信がもてるようにする。

## ことわり方ワークシート①

「あなたなら、どうしますか？」

ねん 年      くみ 組・名前      なまえ

こんな時に、あなたなら、どうしますか？

ケース1、ケース2を読み、自分だったらなんと答えるか考えてみましょう。

### 〈ケース1〉

夜に友だちAさんから電話がかかってきて、相談があるから今から公園に来てほしいと言われました。

時間もおそく、あなたは気がりません。でも、なかよしのAさんがしんけんになやんでいるようです。

.....

.....

.....

.....

### 〈ケース2〉

友だちAさんから、「私たちの悪口を言っているBさんを、無視しよう」と、言われました。

Aさんは大のなかよしです。Bさんともけっこうなかよしです。

.....

.....

.....

.....

## ことわり方ワークシート②

「あなたはどのパターンかな？」

ねん 年      くみ 組・名前      なまえ

### 〈ケース1の場合〉

A：「急にいわれても無理に決まってるじゃん。何をこまってるんだよ。電話で言えよ。」

B：「うーん・・・(こまったなあ)・・・ちょっとだけなら、いいけど・・・。」

C：「悪いけど今から外には出て行けないよ。電話で聞かせてもらったらだめかなあ？無理だったら、明日学校で相談してもらえたらうれしいんだけど。」

### 〈ケース2の場合〉

A：「私は別にどうでもいいし。私をさそわないで自分で無視すればいいじゃん。」

B：「うーん(こまったなあ)・・・」

C：「悪口を言われるのはいやだよなあ。でも、無視するのは気がすすまないな。」



## ことわり方<sup>かた</sup>ワークシート③

「A, B, Cのそれぞれの<sup>ことわ</sup>断り方<sup>かた</sup>のちがいを<sup>か</sup>書いてみよう。」

年 組・名前

	A	B	C
イメージ			
かんが <sup>かんが</sup> かた <sup>かた</sup> 考え方 い <sup>い</sup> かた <sup>かた</sup> 言い方			
あいて <sup>あいて</sup> 相手の きもち <sup>きもち</sup> 気持ち			
じぶん <sup>じぶん</sup> 自分の きもち <sup>きもち</sup> 気持ち			

### 〈参考資料〉

● 枠の中は記入例です。指導の参考にしてください

パターン	A：攻撃的	B：受け身的	C：どちらも大切
イメージ	いばりやさん	おどおどさん	さわやかさん
考 え 方	自分はOK 相手はNO	自分はNO 相手はOK	自分も相手もOK!
言 い 方	一方的に自分のことを主張する。	だまる。弁解がましい。遠回しな言い方。	相手の気持ちを受け入れ、自分のことも話す。
相手が抱く気持ち	腹が立つ。「二度と頼まないぞ」という気持ちになる。	いらいらする。「もういいや」って感じになる。	いやな感じがせず、言われたことを受け入れやすい。
自 分 の 気 持 ち	いつも欲求不満な気持ち。	ストレスがたまる。「自分はだめだ」と思いがち。	自分の言動に責任をとろうという気持ちが育つ。

● 上手なことわり方3つのステップ

**ステップ1**： 「ごめんね」の言葉に相手への感謝の気持ちをそえましょう。

**ステップ2**： 私を主張して事情や気持ちを伝えましょう。(素直にうそはつかない)

**ステップ3**： できれば、ちがうプランの提案をしてみましょう。

※「自分も相手も大切にし、さわやかな自己表現を身につけ、自分自身が落ちこんだり、ストレスがたまったりしないようにしましょう。」と子どもにアドバイスします。

## 5. 教育の専門家として(教職員研修資料)

### カウンセリングマインドとは…

子どもたちは先生や保護者、そして友だちに関心をもって欲しい、認めて欲しいと思っています。その気持ちが満たされれば自らよい方向に成長していくものです。教職員は子どもたちのこのような気持ちを受け止め、あらゆる場で一人ひとりの子どもに関心を持ち、尊重し理解しようと努めながら接していくことが大切ではないでしょうか。カウンセリングマインドの基本姿勢とは、自分を含めた“人間への信頼”であるといえます。

#### (1) カウンセリングマインドをもった教職員像

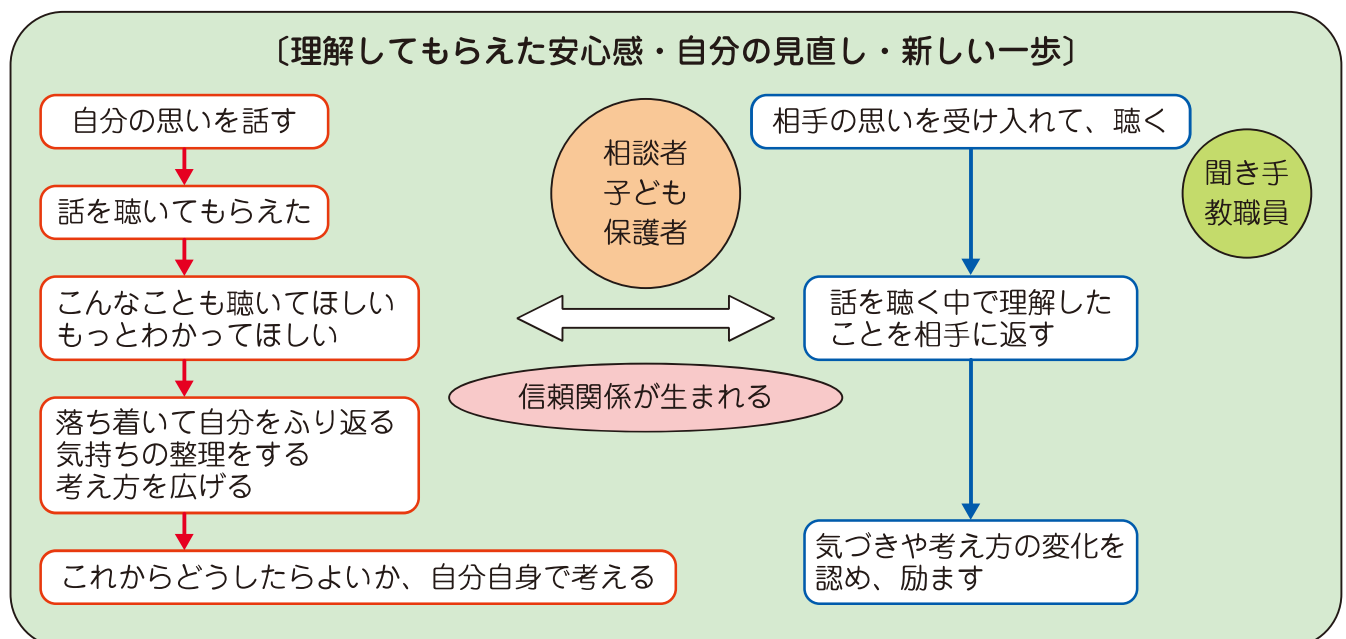
あなたは日ごろ、どのような姿勢で子どもたちと接していますか。チェックしてみましょう。

- ① 子どもの気持ち(感情)をきちんと受け止め、大切にしている。 [ ]
- ② 子どもとの日常の関わりを大切にし、信頼関係を築き、深めている。 [ ]
- ③ 子どもから学ぶことができる柔軟さや謙虚さをもっている。 [ ]
- ④ 教えることよりも自ら学ぼうとする姿勢を育てることに心がけている。 [ ]
- ⑤ 一人ひとりの個性や独自性を認め、大切にしている。 [ ]
- ⑥ 子どもの背後にある生活環境や条件を理解することに努めている。 [ ]
- ⑦ 教えるべき点、守らせるべき点をはっきりと示し、メリハリのある態度で接している。 [ ]
- ⑧ 自分の失敗を素直に認めることができる。 [ ]

#### (2) 教育相談的かわりは行動変容を生む

すべての子どもに、カウンセリングマインドを生かして関わるという考え方は「いつでも・どこでも・誰でも」の教育相談の始まりと言えます。

教育相談は、子どもや保護者が「自分の力で考え、判断し、決定し、抱える課題を解決していけるように支援するもの」です。相手の気持ちを理解しながら話を聴き、一緒に考えることで子どもや保護者自身で解決するのを支援することになるのです。



# いじめのない学級づくりのためのエクササイズ

◇「言いかたいろいろ」、ふりかえりシート(P.41)

◇「そのときどんな気持ちかな」(P.42)、話し手カード、聞き手カード、ふりかえりカード(P.43)

◇「シナリオロールプレイング(いじめられているのは誰?)」(P.45~46)

## 言いかたいろいろ

- ★ねらい：●同じ文章でも、ことばの調子やアクセントを変えて伝達すると、聞いた時の印象や感じ方が違うことに気づく。  
●ことばの言い方から、相手の感情(気持ち)の変化を感じとることができる。

★時間：10~15分

★人数：2人以上(5人くらいのグループごとに行ってもよい)

★内容：(1)ひとつのせりふから、そのことばを言った人の気持ちや感情を想像してみる。  
(2)代表者がいろいろな感情(喜怒哀楽)を込めて、そのせりふを言ってみる。

せりふの例・・・「明日、国語のテストがあります」  
「これから部活に参加します」  
「今朝、母とけんかをしました」  
「学校へ行きたくありません」

(3)ふりかえりシートを書く。

(4)言い方によって、どのように感じ方が違うのか。どのような気持ちだったのかなどについて話し合う。(シェアリング)

### ふりかえりシート

## ふりかえりシート

・いろいろな言いかたを聞いて気づいたこと・感じたことを書いてみましょう

.....

.....

.....

.....

.....

.....

## そのときどんな気持ちかな

★ねらい：人の話を聞くときに、ただ「事実」や「できごと」を聞きとるだけでなく、その時の相手の「気持ち」「感情」を感じとることができる。

★準備(資料)：話し手カード、聞き手カード

★時間：30分

★人数：2人以上

★内容：(1)2人組を作る。  
(2)話し手と聞き手を決め、話し手に「話し手カード」を、聞き手に「聞き手カード」を配る。  
(3)話し手は、カードの指示に従って1のせりふから順番に、感情を込めて読み上げる。  
(4)聞き手は、話し手のせりふから「Ⅰできごと」と「Ⅱ気持ち」を「聞き手カード」に書き入れる。  
(5)出来事と気持ちの両方が正しく聞きとれたかどうかを、2人組で話し合う。  
(6)役割を交換する。(カードを再度配る)  
(7)「ふりかえりカード」を記入する。  
(8)今の活動をふり返って、気づいたこと、感じたことを話し合う。

★ポイント：(1)話し手はできるだけ表情豊かにせりふを読み上げるようにする。楽しそうな出来事でも悲しい感情を込めて読み上げるなど、いろいろな言い方、表情をしてもらおうとよい。  
(2)一度で聞き取れなかった場合は、せりふをくり返してもらってよい。  
(3)はじめにモデリングして見せるとわかりやすい。

今度の夏  
家族みんなで  
遊園地に…



そう、  
楽しみだね



話し手カード

# 話し手カード

話し手は、次の1～3のせりふを「感情」を込めて読み上げます。

例えば、「うれしそうに」「いやそうに」「かなしそうに」「つらそうに」「おこったように」などの気持ちを込めて相手に伝えてください。その時、楽しそうなできごとだからといって、うれしそうにいう必要はありません。できるだけいろいろな言い方を試してみてください。

せりふ1：今年の夏は、家族みんなで遊園地に行く予定です。

せりふ2：いくら勉強しても成績があがりません。

せりふ3：明日、おばさんが来ます。いつもプレゼントをくれます。

聞き手カード

# 聞き手カード

聞き手は、話し手のせりふから「できごと」と「気持ち」を聞きとってください。

できごとは、何が起きたのか、どんな状態なのかという事実です。

気持ちは、その事実に対する話し手の感情です。

話し手のせりふにどんな感情が込められているかを考えてみてください。

せりふ1 I できごと

II 気持ち

せりふ2 I できごと

II 気持ち

せりふ3 I できごと

II 気持ち

ふりかえりカード

# ふりかえりカード

・今の活動をふり返って気づいたこと・感じたことを書いてみましょう

.....

.....

.....

.....

.....

## 気持ちを表す言葉のリスト

1	うれしい	39	あわれな	77	あきあきした
2	ありがたい	40	気の毒な	78	うんざりした
3	感謝する	41	痛々しい	79	憂鬱な
4	心苦しい	42	さびしい	80	うっとうしい
5	満たされた	43	やるせない	81	じめじめした
6	充実した	44	むなしい	82	暗い
7	幸せな	45	不気味な	83	しょんぼりした
8	誇らしい	46	怖い	84	がっかりした
9	楽しい	47	恐ろしい	85	げんなりした
10	明るい	48	ヒヤッとする	86	あせる
11	晴れ晴れした	49	おびえる	87	いたたまれない
12	晴れやかな	50	びくびくした	88	そわそわした
13	すっきりした	51	ドキドキする	89	じれったい
14	さっぱりした	52	はらはらする	90	ぼうっとした
15	すがすがしい	53	ひやひやする	91	泣きたい
16	さわやかな	54	心細い	92	胸を打たれる
17	わくわくする	55	不安な	93	むなしい
18	うきうきする	56	恥ずかしい	94	情けない
19	ふわふわした	57	照れくさい	95	やりきれない
20	天にも昇る	58	ときめく	96	つらい
21	夢のような	59	くすぐったい	97	胸をしめつけられる
22	いらいらする	60	いとしい	98	やるせない
23	腹立たしい	61	切ない	99	苦しい
24	むっとする	62	愛する	100	胸が張りさけそうな
25	荒々しい	63	恋しい	101	絶望的な
26	興奮した	64	うっとりする	102	申し訳ない
27	不愉快な	65	みじめな	103	安心する
28	苦々しい	66	残念な	104	ほっとする
29	しらけた	67	憎らしい	105	救われた
30	ぞっとする	68	恨めしい	106	のびのびした
31	むかむかする	69	物足りない	107	驚いた
32	むしゃくしゃする	70	やきもきする	108	ぎょっとする
33	頭にくる	71	くよくよする	109	どきっとする
34	はらわたが煮えくりかえる	72	悔しい	110	息が止まるような
35	悲しい	73	いまいましい	111	どぎまぎする
36	物悲しい	74	ねたましい	112	あきれる
37	嘆かわしい	75	うらやましい	113	魂を奪われたような
38	めそめそした	76	戸惑う	114	ぼんやりする

# シナリオロールプレイング(いじめられているのは誰?)

- ロールプレイングは、役割を演じること。頭(知的)で理解していることを、身体(感覚)で実感できる方法。シナリオロールプレイングは、台本に沿った内容を役割演技することで、疑似体験をする。
- 演じているときの気持ちや気づきを大切にする。

\*全体を見るリーダーが1人(タイムキーパーも兼ねる)  
\*5人グループはいくつあってもよい。

(60分)

## 1. 5人グループをつくる

- (1) 役をきめる(5役)  
担任 Aさん Bさん Cさん Dさん
- (2) それぞれに役割カードを配る
- (3) カードに書いてある役を演じることを伝える
- (4) 課題カードを配る  
課題 いじめられている子・いじている子は誰なのか

(5分)

## 2. 一人ずつ面接をする

(一人5分間)

面接終了

(20分)

## 3. グループ毎に話し合いをする

- ◎担任を中心に課題に沿って話し合いをします
- 課題1 誰がいじめっ子か 誰がいじめられっ子かどの言葉でわかったのか。
- 課題2 それぞれの子どもの気持ちはどうだったか。
- 課題3 いろいろなやり方が考えられるが、子どもに安心して話をしてもらうには、信頼関係のほかにどんなことが必要だと思うか。

(15分)

## 4. 役割を解除する

## 5. ふり返りをする

各グループで話し合ったことを全体でふり返る。

(20分)

- ・ 中学の担任なら中学の場面、小学校の担任なら小学校の場面を設定する。
- ・ カードは人に見せてはいけない。
- ・ AさんBさんCさんDさんを一人ずつ呼んで面接をする。(順番は担任が決める)

### 〈約束〉

待っている人たちは、面接している人の話をよく聴きます。笑ったり話し合ったりしてはいけません。私だったらこう答えるだろうとメモしておくといよい。また、子ども同士で打ち合わせをしてはいけません。

- ・ 何のために面接をするのか、確認して役割に忠実になるよう話す。
- ・ ふだんの自分でない自分を出してもよい。

### グループの話し合い

- ・ 演じていたときのた気づきや感情を大切にする。

### 〈課題3で予想されること〉

- ・ 話しやすい雰囲気づくり・秘密を守る
- ・ 連携・コミュニケーションを深める
- ・ リレーションづくり など

- ・ 役割をしっかりと解除する。
- ・ どんな話が出たのか全体で共有する。

## シナリオ〈1〉担 任

あなたはクラス担任。今年4月に受けもったクラスだが、前期にはこれといった問題もなく順調に過ぎてきた。しかし、現在クラス内にいじめが発生しているらしいという噂を隣のクラスの担任から聞いた。

実態をつかむため、また、いじめている子といじめられている子を把握するため、クラス全員に面談を設定した。さて、いじめられている子、いじめている子は誰でしょう？

## シナリオ〈2〉クラスの子A

CさんがBさんにいじめられていることは知っている。このままだとCさんがかわいそうだ。何とかしなくては…でも、自分が告げ口したら次は、自分がBさんにやられるかもしれない…今度の面談は先生に「いじめ」のことを話すチャンスかもしれないが…でも…言えない。先生は、自分のサインに気づいてくれるかなあ。

## シナリオ〈3〉クラスの子B

あなた(Bさん)はCさんをいじめている張本人。掃除を押しつけたり、しつこくからかったり、Cさんが嫌がることをわざとやったりしている。今のところ先生には知られていないと思うが、だいじょうぶかな。

## シナリオ〈4〉クラスの子C

あなた(Cさん)はいじめられている張本人。特にBさんからやられている。掃除を押しつけられたり、自分が気にしている身体的なことをしつこく言われたりされている。先生はそのことを知らない。

## シナリオ〈5〉クラスの子D

Cさんがいじめられていることを知っている。本当は先生に言って、止めさせなくてはいいが何か言いにくい。第一、Cさん自身が言わないし、自分が言ったら今度は自分がやられるかもしれないし。ああ、面倒だなあ…

### 検討課題

- 1 いじめている子、いじめられている子は誰？
- 2 それぞれの子どもの気持ちは？
- 3 子どもに安心して話してもらうには、日ごろの信頼関係以外に何が必要だと思うか。



# 事例演習「いじる」は「いじめ」？

## 〈小学校事例〉

〔教員〕5年〇組担任 38歳(経験15年目)

〔時期〕5月下旬

### 〔教師のつぶやき〕

Hさんはとても明るく元気がよいが、他の子どもたちに比べ少し行動が遅く、「遅いよ。」とまわりから急かされることが年度当初から見られた。

5月のある授業中に、Hさんがまだ机上に授業の準備をしていないのを見た私は、「まだ、何も準備していないんだね。本当に遅いなあ。何回言ったらわかるの。授業が始まらなくて、みんな迷惑しているよ。」と叱った。すると、Hさんは大きな声で「はい。」と返事をして、クラスの爆笑を買った。

それから、Hさんが授業中に発言するたびに、くすくすと笑い声が聞こえるようになった。しばらくして、その笑い声が気になったので、全体に注意をし、その時は収まるのだが、しばらくすると、また笑い声が聞こえだした。

そんな時、休み時間にIさん・Jさん・Kさんの3人がHさんと話しているところを見た。

- ・I「Hって、誰かに何か言われても、いつも変な返事をして、いい味出してるよね。」
- ・J「そういうのをいじられキャラって言うんだよ。」
- ・K「H、なんか面白いこと言ってよ。」

と言いながら、Hさんを取り囲んで、小突いているように見えたので、私は、「3人で囲んで、何をしているの？いじめてるんじゃないの？」と尋ねたが、3人は、「いじめじゃないよ。一緒に遊んでるだけだよ。」と答え、Hさんも、「大丈夫で一す。遊んでま一す。」とおどけて答えていたので、気にはなったが、そのまま静観した。休み時間のたびに、そんな光景は見られたが、Hさんも笑っているし、単にいじられているだけだと認識していた。

そんな中、6月下旬、Hさんの保護者から電話があった。

「うちの子が、学校には行きたくない、と言っています。学校で何かあったのでしょうか。」

Hさんは、昨日まで学校に来ていて、休み時間に笑顔も見せていたのに。ふり返ってみても、特に私に大きな落ち度はなかったと思うのだが…。

### 〈話し合いの視点〉

- この事例から感じたこと(これまでの学級経営と関連させて)
- 教師が取るべき対応と指導(具体的な措置、順序、報告・連絡・相談 など)
- 日ごろから心がけるべき指導(「いじめ」についての教師の基本姿勢 など)
- その他

## 〈中学・高等学校事例〉

〔教員〕〇〇科38歳(経験15年目) 〔学級〕2年〇組

〔時期〕5月下旬

### 〔教師のつぶやき〕

Hさんはとても明るく元気がよいが、他の子どもたちに比べて指示通りにできないことが多く、隣席の生徒の机をのぞき込みながら学習する様子が年度当初から見られた。

5月のある日、机間指導でHさんが指示した手順を間違えて、プリントを黙々とやっているのを見た私は、「あれ、何やっているの。プリントは家でやりなさいって言ったでしょ。相変わらずズレてるわねえ。」と、わざと周囲にも聞こえるように言うと、教室内に失笑が漏れた。するとHさんがおどけて「ごめんねー。」と返事をしたので、教室は爆笑に包まれた。

それ以降、Hさんが授業中に発言するときに、間違えることを期待するような雰囲気になり、実際に間違えると同じようにおどけるので、教室が大いに盛り上がった。私はあまり度を超すと全体に注意をしてきたが、Hさんの存在が楽しい授業に欠かせないものと感じていた。

そんな時、休み時間にIさん・Jさん・KさんがHさんと廊下でふざけあっている姿を見かけた。よく見ると3人でHさんを小突いているように見えたので、私は、

「やめなさい、何をしているの。いじめているんじゃないの?」と声をかけると、

- ・ I「いじめじゃないよ。いじっているだけだよ。」
- ・ J「先生、いじられキャラなんだよこいつ、Hって、いい味出してるよね。」
- ・ K「H、なんか面白いこと言ってよ。」

と言うので、私が念のため「大丈夫なの?」と声をかけると、Hさんも「大丈夫で一す。」とおどけて答え、その場が和んだのでそのまま静観した。

休み時間のたびに、そんな光景は見られたが、Hさんも笑っているし、単にいじられているだけだと認識していた。

しばらくすると、2年1組の授業にHさんの姿が見えなくなった。仲が良いと思っていたI、J、Kの3人にたずねても「知らない。」と意外に関心を示さなかった。

学級担任に「最近Hが休みがちですね。Hがいなくて盛り上がらなくて寂しいですよ。」と話すと、担任が、「母親に聞くと何かと理由をつけて学校に行きたがらないそうなんです。家庭訪問したらそんなに変わった様子はなくて、さぼりですかね。」と答えた。

休み時間のできごとは担任に伝えていないが、あんなに笑顔を見せていたHさんの不登校という事態に違和感を覚えるとともに、私は漠然とした不安を感じた。

### 〈話し合いの視点〉

- この事例から感じたこと(これまでの学級経営と関連させて)
- 教師が取るべき対応と指導(具体的な措置、順序、報告・連絡・相談 など)
- 日ごろから心がけるべき指導(「いじめ」についての教師の基本姿勢 など)
- その他

## 〈事例演習「いじる」は「いじめ」？を分析する視点〉

どんな教員でも出会う可能性の大きい事例だと思われる。次の対応を考える前に、これまでの学級経営を振り返り、自分の立場と重ね合わせ、この場合、どのような問題点が考えられるか把握・分析しておく必要があります。

### ポイント

- いじめは絶対に許さないという教師の姿勢
- 教師の適切な言動と人権感覚の向上
- 子どもの小さな変化に気づく教師の感性

### ● 教師がとるべき主な対応と指導の課題

- ・ Hさんについての前年度からの引継ぎ、教職員間で指導の共通理解は図られていたか。
- ・ 年度当初からのHさんと他の子どもとの関わりについて、どのような対応をしてきたのか。
- ・ 教師が授業中に行ったHさんへの言動の何が不適切か。日ごろからHさんに対する教師自身の感情はどうだったか。
- ・ その後の授業でのHさんに対する級友の反応に対する指導は適切か。
- ・ 3人から囲まれているときの教師の対応の何が不適切か。その後、「いじられる」の現場を何度も見ていたのに「いじめ」と思わずに見過ごしたのはなぜか。

### ● 今後とるべき主な対応と指導

- ・ 身近な職員(中高の事例では学級担任)、学年主任に相談し、教頭、校長に報告する。
- ・ 組織的な問題対応のために、対策会議(チーム)を編成する。(P.7参照)
- ・ 不登校の原因を分析し、Hさんの保護者と詳しい情報交換をする。
- ・ Iさん・Jさん・Kさん、必要に応じて他の生徒の教育相談を実施する。
- ・ 学級指導(もしくは学年指導)による、過ごしやすいクラスづくりや人権尊重の指導を行う。
- ・ Hさんの保護者に対し、経緯を報告し今後の支援方針について相談する。また、必要に応じ、Hさんに対する教師の過去の言動を謝罪する。
- ・ Hさんに対する継続的な見守り、登校までの支援を行う。

# いじめに関する相談

(年末年始及び祝日を除く)

## 川崎市総合教育センター

〈24時間電話相談〉

Tel044-522-3293 (毎日)\*<sup>1</sup>

〈一般電話相談〉

Tel044-541-3633 (毎日 9:00~18:00)\*<sup>1</sup>

Tel044-844-3700 (月~金 9:00~16:30)

〈子ども電話相談〉

Tel044-844-6700 (月~金 9:00~16:30)

※ 1) 年末年始を除き土日祝日も開設しています。

## 川崎市教育委員会

〈教育相談〉

Tel044-200-3288、3289 (月~金 9:00~16:15)\*<sup>2</sup>

〈インターネット問題相談窓口〉

Tel044-200-3068 (月~金 8:30~21:00)\*<sup>2</sup>

※ 2) 12:00~13:00は昼食休憩のため出られません。

## 子ども家庭センター(川崎区・幸区・中原区)

Tel044-542-1234 (月~金 8:30~17:00)

## 川崎市中部児童相談所(高津区・宮前区)

Tel044-877-8111 (月~金 8:30~17:00)

## 川崎市北部児童相談所(多摩区・麻生区)

Tel044-931-4300 (月~金 8:30~17:00)

## 区役所 子ども支援室

〈子ども教育相談・家庭児童相談〉

川崎区役所 Tel201-3313 宮前区役所 Tel856-3240

幸 区役所 Tel556-6693 多摩区役所 Tel935-3431

中原区役所 Tel744-3238 麻生区役所 Tel965-5303

高津区役所 Tel861-3259 (月~金 9:00~16:30)

※市外局番は004です。

## 地区健康福祉ステーション

〈子ども教育相談・家庭児童相談〉

大師地区 Tel044-271-0150 (月~金 9:00~16:30)

田島地区 Tel044-322-1999 (月~金 9:00~16:30)

## 川崎市児童・青少年電話相談

Tel044-542-1567 (月~金 9:00~20:00)

## 川崎市人権オンブズパーソン

Tel044-813-3110

Tel0120-813-887 [子ども専用フリーダイヤル]

(月・水・金13:00~19:00、土 9:00~15:00)

## 横浜地方法務局川崎支局

〈子どもの人権110番〉

Tel0120-007-110 [フリーダイヤル](月~金 8:30~17:15)

## 神奈川県警察 少年相談・保護センター

〈ユーステレホンコーナー〉

Tel045-641-0045

Tel0120-457-867 [フリーダイヤル](月~金 8:30~17:15)

※いずれの機関も開設曜日・時間に変更がある場合があります。

# いじめに関する文献・資料

## 川崎市教育委員会

◇『児童生徒指導ハンドブック』 平成16年3月

◇教師用指導資料『かわさき共生\*共育プログラム』 平成22年3月

◇『一人ひとりの子どもを大切に作る学校をめざして[II] ~いじめ問題の理解と対応~』 平成22年9月

## 川崎市総合教育センター

◇川崎人権尊重教育実践事例集『自分と、まわりの人を大切に作る子を育てる「かわさきKタイム」』 平成19年3月

◇『児童生徒の豊かな人間関係を育てるために ~「いじめ」の現状：10年前との比較を通して~』 平成19年3月

## 神奈川県教育委員会

◇『児童・生徒指導強化週間取組み事例集』 平成19年6月

◇『子どもたちが携帯電話等を安全に安心して利用するために』 平成21年1月

## 神奈川県立総合教育センター

◇『教育相談事例から考える いじめとその対応 ~チームでいじめに対応する重要性~』 平成19年4月

## 神奈川県警察

◇『インターネット掲示板での誹謗中傷事案対応マニュアル』 平成18年10月

## 文部科学省

◇『「ネット上のいじめ」に関する対応マニュアル・事例集(学校・教員向け)』 平成20年11月

◇『生徒指導提要』 平成22年3月

## 国立教育政策研究所

◇『いじめ問題に関する取組事例集』 文部科学省 国立教育政策研究所生徒指導研究センター 平成19年2月

◇『生徒指導資料第1集(改訂版) 生徒指導上の諸問題の推移とこれからの生徒指導』 平成21年3月(ぎょうせい)

◇『生徒指導支援資料 「いじめを理解する」』 平成21年6月

◇『生徒指導支援資料2 「いじめを予防する」』 平成22年6月

◇『生徒指導支援資料3 「いじめを減らす」』 平成23年6月

## 一般書籍

◇森田洋司著『いじめとは何か ~教室の問題、社会の問題~』 平成22年7月(中央公論新社)

## 児童生徒指導ハンドブック

インターネットでも内容の一部が確認できます。  
検索エンジンに『タイトル』を入力してください。

## 検索

一人ひとりの子どもを大切にする  
学校をめざして[Ⅳ]  
～いじめ問題の理解と対応～

発行年月	平成24年2月
編集	川崎市教育委員会 学校教育部 指導課 // // 区・教育担当 // 総務部 教育改革推進担当 川崎市総合教育センター 教育相談センター
発行	川崎市教育委員会 学校教育部 指導課



川崎市教育委員会